

タバコと健康

第1回は「タバコの害」について掲載しました。タバコは喫煙者本人への影響はもちろん、周囲の人へも大きな影響を与えます。そこで第2回は「受動喫煙と喫煙マナー」について掲載します。

その
2

～受動喫煙と喫煙マナー～

タバコを吸わない周りの方の健康も脅かしていることを頭に入れて、周囲への配慮を忘れないように心掛け、喫煙マナーはしっかり守りましょう!!



タバコを吸わない人が、自分の意思に関係なく他人のタバコの煙を吸わされることを「**受動喫煙**」といいます。

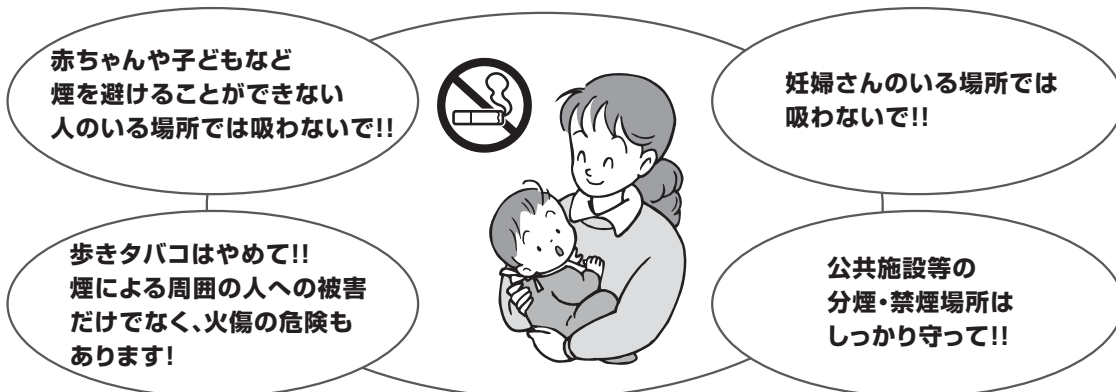
タバコの有害物質は、漂う煙の方に多く含まれています。喫煙者が吸う煙とは違い、漂う煙はフィルターを通さないため、有害物質がそのまま漂います。換気扇の下で吸っても、多くの有害物質は空気中に拡散してしまいます。

そのため、タバコを吸っている本人だけでなく、**その周りにいる人にも大きな影響を与えてしまっている**のです。

たとえば、夫が喫煙者で妻は非喫煙者だった場合、**妻の死亡率は夫が非喫煙者の人に比べて1.6倍**にもなります。また、親がタバコを吸う家庭の子どもは、**肺炎、気管支炎、ぜん息、乳児突然死症候群**などになりやすいと言われています。



喫煙マナーはしっかり守って!!



タバコと健康に関するご相談等については、ほけん課までお問い合わせください。

問い合わせ ほけん課(すこやかセンター伊野内) 電話 893-3811



水道管の「冬じたく」をお忘れなく

上下水道課水道係

気温が摂氏マイナス4度以下になると、水道管の水が凍ったり、水道管が破裂することがあります。特に水道管が次のような所にある場合は、防寒に注意してください。

- 北向きの寒い所にある場合
- 日照時間の短い所にある場合
- 風当たりの強い所にある場合

このような所にある水道管は、ご家庭で次のような「防寒策」をお願いします。

○簡単な凍結・破裂防止法

手近にある布などを露出している水道管に巻きつけて保温し、さらに上からビニールテープなどを巻きつけます。

これは、先に巻きつけた布などの防寒材がぬれたため水道管を凍らせ破裂させることを防ぐためです。

気温が下がって、凍るおそれのある時は水を少しずつ出しておいてください。水道管が破裂してしまえば、たくさんの水がムダになってしまいます。水道管にも温かい思いやりをお願いします。